

研修のアピールポイント

センターの特徴

- ・ 地域福祉計画／重層事業や自立支援協議会の枠組を活用した協働体制を築く豊田市、一宮市と連携。「持続可能な」官民協働が定着している
- 官民協働の実践例
- ・ 入口支援では、市町村・検察庁・保護観察所・弁護士会等と連携している
- ・ 出口支援では、名古屋市社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーが刑務所面接に同席
- ・ 居住支援法と協働し「あらゆる住まいのない人を、その日から受け入れ、生活支援を提供する」体制構築を推進している



受講者の声

実際に先進的に取り組んでいるセンターに伺う事で、座学よりもより深く理解・認識できる部分（現場の雰囲気や関係機関とのつながりなど）がありました。



1日目

挨拶・研修全体のオリエンテーション

I.官民協働：一宮市自立支援協議会「触法障害者支援連絡会議」@一宮市役所尾西庁舎

- ・ 連絡会議の成り立ちを学習
- ・ 官民協働の実践を説明後、事例検討を実施
- ・ 保護観察所より更生保護の講義

III.事務業務：実績報告や、記録の作成・保管方法等を学習

2日目

III.事務業務：朝礼、情報共有

【受講者1】

I.官民協働：愛知県弁護士会との懇談会@愛知県弁護士会館
愛知県弁護士会「触法障害者支援検討チーム」との連携の実際、入口支援に関する連携の紹介、意見交換

I.官民協働：被疑者等支援ネットワーク会議@名古屋地方検察庁
愛知県、検察庁、保護観察所、弁護士会等と一緒に、被疑者等支援業務に関する検討会、進捗状況の確認



II.援助技術：居住支援事業部取組説明

居住支援法人、一時生活支援事業、日常生活支援住居施設、自立準備ホーム、児童相談所からの一時保護委託、家庭裁判所からの補導委託、グループホーム、就労準備支援事業等について説明・見学

III.事務業務：本日支援内容について記録、一日の振り返り、質疑応答

【受講者2】

II.援助技術：重層事業担当者との合同での特別調整対象者面接@名古屋刑務所

II.援助技術/ I.官民協働：名古屋市南区社会福祉協議会→無料低額宿泊所「わかば名南」
コミュニティソーシャルワーカーより重層事業の歴史と背景、事例、定着との支援の説明を受ける。その後、実際に一緒に支援している対象者のフォローアップ

3日目

III.事務業務：朝礼、情報共有

I.官民協働：地域福祉計画・地方再犯防止推進計画担当者及び重層事業担当者との意見交換@豊田市役所
地域共生社会の実現に向けての「計画」と「実行」を両輪とした施策や展開や、愛知定着とのケースを通じた連携について学習



実地研修の振り返り

実際に他県の定着様との関係性ができた事もあり、ブロック外ですが自定着で少し困った時には連絡したいと思いました。

